東京・渋谷の路上女性暴行死、保釈中の被告自殺か

#事件・司法

2022/4/11 14:30

東京都渋谷区の路上で2020年11月、女性（当時64）を殴って死亡させたとして、傷害致死罪で起訴された吉田和人被告（48）が、同区の自宅付近で死亡していたことが10日、捜査関係者への取材で分かった。被告は保釈中で、8日朝に近くの建物から飛び降り自殺したとみて、警視庁が調べている。

起訴状などによると、20年11月16日午前4時ごろ、路上にいた大林三佐子さんの頭部を、ペットボトルと石が入ったポリ袋で殴り、外傷性くも膜下出血により死なせたとしている。今年5月17日に初公判が開かれる予定だった。

大林さんは路上生活をしていたとみられ、日常的にバス停のベンチで夜通し過ごす姿が目撃されていた。被告は捜査段階で「近所でごみ拾いのボランティア活動をしていて、バス停に居座る路上生活者にどいてほしかった」と供述していた。〔共同〕